

平成 27 年度  
優良取組賞

# 株式会社 JA 食肉かごしま

## 会社概要

昭和 48 年に(株)鹿児島くみあい食肉として設立，平成 15 年に鹿児島県農協直販(株)と合併し，(株)JA 食肉かごしまとなった。資本金は 4 億 5 千 200 万円，従業員数は 647 名となっている。農場での肉豚の生産，工場での肉牛・肉豚の加工処理，営業所での販売まで一貫した体制で事業を行っており，販売については，関連企業から仕入れる鶏肉，ハムなども取り扱っている。より美味しく・より安心・安全な食肉を県内外，さらには国外にも提供している。

## 削減実績

C02 排出量削減率 6%達成（平成 22 年度比）

※電力排出係数の悪化の影響に配慮し，電力排出係数を基準年度（平成 22 年度）に固定して実績排出量を算定し，計画期間（平成 23 年度～平成 26 年度）の平均排出量を評価した。

## 実施した対策

### 全従業員による削減活動の実施

全体としての省エネ委員会，工場省エネ委員会を四半期毎に開催する他，エネルギー消費の特に大きい処理工場においては，推進委員会を設置して省エネを中心としたコスト低減の取組を検討・実施しており，全体朝礼などでの取組の啓発の実施や，変形労働制を導入したエネルギー使用量の削減を行っている。

各事業所では，空調の省電力設定での作動や照明の間引き，室外機への水まきなど，細かな節電への取組がなされている。

### エネルギーサポート会社との連携

エネルギー管理士の退職に伴い，エネルギーサポート会社の支援を受けるようになり，毎月の省エネパトロールに同伴してもらうなどして，設備の適正運用や取り組める省エネ対策について，意見の交換を行いながら取組み，エネルギー消費量の削減につなげた。

### 電力需要の平準化への取組

工場において，デマンドピークとなる時間帯に作業が集中しないよう，貯水タンクからの移送作業や冷水製造について，夕方以降に変更している。

また，設備のエネルギーの損失低減ために，蒸気漏れ対策や，廃熱利用などにも取り組んでいる。

### デマンド監視システムの導入

平成 25 年に工場において電力監視システムを導入して，設備の電力使用状況を監視，データの蓄積・分析を行うことで，エネルギーの消費削減につなげた。

今後は，費用対効果を考慮した省エネ設備の導入促進や現場での取組の継続を予定している。



電力監視システム



LED 照明の導入  
(1 灯のみへの間引き)



ブロアーの更新による  
稼働台数の削減